

令和5年度 学校関係者評価報告書

学校法人 食糧学院
東京栄養食糧専門学校

学校法人食糧学院 東京栄養食糧専門学校
学校関係者評価報告書

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「令和5年度自己点検・自己評価報告書を基に学校関係者評価」を行いました。その結果を以下の通り報告いたします。

- 1.開催日時 令和6年2月28日(水) 16:00~18:00
- 2.開催場所 東京栄養食糧専門学校 本館二階 会議室
- 3.委員 (1) 学校関係者評価委員
- | | |
|--------|------------------------------|
| 大木 いづみ | 慶應義塾大学病院 食養管理室 室長代理 |
| 川島 孝子 | シダックスフードサービス(株) メディカル事業本部 部長 |
| 寺嶋 利行 | 一般社団法人 FLA ネットワーク協会 理事 事務局長 |
| 深谷 朋世 | (株)宮本薬局 執行役員 社長室 室長 |
- (2) 事務局
- | | |
|-------|-----------------------|
| 元呑 春香 | 東京栄養食糧専門学校 学生部 学生課 主任 |
| 長島 彩子 | 東京栄養食糧専門学校 教務部 教務課 |

会議の概要

- (1) 令和5年度 第1回学校関係者評価委員会議事録について
- (2) 令和5年度 第1回学校関係者評価結果の現状について
- (3) 令和5年度 職業実践教育推進活動状況について
- (4) 令和5年度および次年度に向けて、より実践的な職業教育を行うにあたっての提案事項
- (5) その他

令和5年度 自己点検・自己評価報告書 令和6年1月31日現在

令和5年度 学校関係者評価結果

(学校関係者評価委員会実施日：令和6年2月28日)

学校法人 食糧学院 東京栄養食糧専門学校

大項目	学校関係者評価
<p>基準1 教育理念 目的・育成人材像</p>	<p>本校は「専門教育に誇りを持ち、社会から信頼される教育機関を目指すと共に社会から高い評価を得られる学術・技能に優れた人材の育成に努める」ことを教育の理念・目標に掲げ、社会に貢献できる栄養士・管理栄養士の育成に努めている。具体的には「栄養士・管理栄養士が持つべき基本的スキルである調理技術や身体状況に見合う献立作成技術の習得、更には栄養指導、栄養教育に不可欠な他人を思いやる豊かな人間性の涵養」を周知しているところである。</p> <p>栄養士科は5コース（健康増進栄養系、医療・福祉系、こども・食育系、健康・美容系、食品開発系）管理栄養士科は2コース（医療・福祉栄養系、健康・食育栄養系）のコース制を導入し、将来を見据えた専門性を磨くことができる。また、実学教育を実施すべく、カリキュラムに実習・実験・演習を多く取り入れ、アクティブラーニングを推進している。中長期的構想の中で、栄養士科、管理栄養士科の卒業生が学んでも遜色のない学科「健康スイーツ研究科」の設立をした。</p>
<p>基準2 学校運営</p>	<p>年度当初に策定した事業計画・予算案に基づき、理事会や定例会議（学院運営会議、本校運営会議・教職員会議等）において学校運営の進捗状況、課題（問題点）等を提起、或いは報告し、教職員全体が把握できるようにしている。教職員間のコミュニケーション手段の一助としてインフラの整備が進み、学校運営に対する情報の共有化が容易となる中、学院本部や広報室、キャリア支援室との連携をより密にして、更なる情報の共有化・事務処理の効率化を図っている。</p>
<p>基準3 教育活動</p>	<p>職業実践専門課程に相応しいカリキュラムを作成するため、これからの高齢化社会における栄養士・管理栄養士のあるべき姿のイメージ像を描き、将来の「就職」も視野に企業・業界団体との連携を図り、企業等が求める人材ニーズを反映させたものとするを心掛けている。</p> <p>また社会人となったときに、コミュニケーション能力を活かせるよう、授業での少人数制グループワークで「全員参加型の教育」を実施、より具体的な栄養士・管理栄養士像が思い描けるよう、実社会での実地研修である校外実習・臨地実習に重点を置いている。</p> <p>【質問・提案】</p> <p>① 今年度はじめて授業を担当した。初めてのことで手探りでもあったが、授業を受ける学生が何を求めているのか事前に明確に伝えてもらえたら、より分かりやすい授業ができたのではないかと考えている。就職先決定の参考になるような講義もあったので、できれば就職が決定する前の学生が多いと良かった。</p> <p>【回答】</p> <p>① シラバスに到達目標を記す項目を追加した。</p>
<p>基準4 教育成果</p>	<p>全ての学生が高い満足度、充実した学校生活を感じて卒業すると共に、卒業生が社会で活躍し貢献することを期待している。授業評価（学生満足度）アンケートを実施し、その結果を教職員にフィードバックしている。管理栄養士科の国家試験対策の充実は、高い合格率に表れている。就職に関しては、担任、就職進路課および全教職員が一体となり、学生の夢を叶えるべく、支援体制を強化している。学生のニーズに合った就職先の開拓や、学生個人の適正を把握し、その適正に沿った就職先の斡旋により、多くの学生が栄養士・管理栄養士の資格を活かせる職域での就職を実現している。キャリアデザインの一環として、就職活動の流れや将来像、履歴書の作成、セルフプロモーション、面接指導や就職活動のマナーなどの指導している。</p> <p>【質問・提案】</p> <p>① 卒業後1年での離職率や離職理由を把握していないのか。</p> <p>【回答】</p> <p>① 企業研究会・説明会の機会を活用し、企業むけ卒業生アンケートを実施する。退職理由についても追加できるようにしたい。</p>
<p>基準5 学生支援</p>	<p>栄養士・管理栄養士を目指す意欲を喚起し、安心・安全に勉学を励むことが出来るよう支援体制ならびに施設環境を整えている。志半ばでの進路変更や経済的な理由で中途退学する学生がいるため、経済的支援としては、各種奨学金制度をはじめ本校独自の制度として「入学特待生制度」「教育後援会奨学金制度」「留学生校納金減免制度」を設けている。</p> <p>学生相談については、カウンセラー室を設けており、専任カウンセラーによるカウンセリングを必要とする学生への相談対応を行うなどきめ細やかな学生対応を実施している。</p>

	<p>【質問・提案】</p> <p>① 退職理由を吸い上げてもらえると、企業としても対策を講じて退職率減少に繋げられる。</p> <p>【回答】</p> <p>① 企業研究会・説明会の機会を活用し、企業むけ卒業生アンケートを実施する。退職理由についても追加できるようにしたい。</p>
--	--

<p>基準6 教育環境</p>	<p>常に充実した施設設備・環境のもと、最高水準の職業実践教育を授け学生の思い・夢・希望を叶えていきたい。校舎の老朽化は否めないが、各校舎の耐震化施工は全て実施済みであり、耐震工事に併せた外観リニューアル、80周年記念事業としての各校舎内装等のリニューアルにより、明るいキャンパスを実現している。防災（地震と火災）訓練を年2回実施し、防災に対する心構えや体制の整備を行っている。</p> <p>【質問・提案】</p> <p>① 今年度初めて病院実習を中止した学生がいた。（食糧学院の学生ではない）実習態度が悪く、患者様やスタッフに迷惑をかけてしまう懸念があり断念した。実習開始前にじっくり話す機会があれば学生の素養に気付くこともできるが、実習期間だけでは難しい。サポートが必要な学生に対する理解を深めないといけない。</p> <p>② 実習態度が良くないため、病院側が中止を決定したが後味が悪く、班員も気にしてもらう。コミュニケーションがとれない学生が年々増えているのを実感している。サポートが必要な学生について学ぶ必要性を感じている。</p> <p>【回答】</p> <p>①②今年度から事前確認書の取り交わしを行った。（心身の状態をあらかじめ確認していただくため）しかし、受け入れ可能な施設は限られている。特に企業（事業所）給食はクライアントに配慮するあまり、後ろ向きの傾向が強い。</p> <p>② 実習中止または延期のフローを作成した。実習事前指導で態度等不良の学生は、実習を延期（留年含む）する。その間学校生活に改善がみられたと判断した場合、実習に臨むことができる。</p>
-----------------	--

<p>基準7 学生の募集と受入</p>	<p>栄養士・管理栄養士を目指す意欲ある学生は、是非伝統と歴史と実績のある本校で学んで頂きたい。そのためには、本校のアドミッションポリシーを理解し、真摯な態度で勉学に励むことを望むものである。一人でも多くのオープンキャンパス来校者に出願して頂けるよう、全教職員が魅力ある学校の情報発信に努め、自覚と責任をもって学生募集活動を行う必要がある。</p> <p>本校では入学希望者に学校を知ってもらうために、オープンキャンパスを実施、①学校紹介、②ミニ授業体験、③施設見学、④個別相談等を行っている。参加者のリピート率も高くそれが出願に繋がっている。その他にも学校見学、授業見学等を随時実施している。また入試の形態も多様化している。学院本部 学院広報室が関東一円をはじめ甲信越や東北地方での高校訪問や会場ガイダンスなどの広報活動を展開している。高校生から社会人までの様々な入学希望者に対し全教職員が“おもてなし”の気持ちをもって対応できる体制を整えている。</p> <p>【質問・提案】</p> <p>① 専門人材育成訓練での学生募集は今年が初めてなのか。20名枠もあるなら行った方がいいのではないか。</p> <p>② 大学への進学率が過去最高を迎え、ライバルが大学となったなか、専門学校独自の取り組みをどのように行っているのか。</p> <p>③ 入学者の確保も大切だが入学した学生をしっかりと確保し、中身の濃い授業を丁寧に行うことが大切。</p> <p>④ 様々な人を受け入れるのは大きな労力ではあるが、既卒者や海外の方のターゲット層を広げて募集に力を入れていく必要がある。</p> <p>⑤ 栄養士科は女性の方が多いか。男性はどうしているのか。</p> <p>⑥ 年度末ギリギリまで募集をしていた本校に進学を決めた。最後の最後まで募集していることは、学校を探している人には救いになるのではないか。</p> <p>⑦ 薬局に大学の募集ポスターの掲示を頼まれることがあるので、そういった所に掲示することで学生募集に繋がるようになるのではないか。</p> <p>【回答】</p> <p>① 今年度の20名について退学者なし。（8月現在）</p> <p>② 多様化する学生に個別最適な学びを提供している。 ・学習習慣の形式を補習、基礎固め科目の設置により実施。 ・リスキンリングは課外活動への参画等により対応。</p>
-------------------------	--

	<p>・不登校歴のある学生には、多様性やアイデンティティーを理解できる職員養成のための研修を実施。</p> <p>③ 中堅～若手を積極的に授業担当に抜擢した。公開授業見学を課した。</p> <p>④ 短大推薦編入学制度を24校に案内した。</p> <p>⑤ 男性は20%程度である。社交的な学生は男女分け隔てなくコミュニケーション形成をしている。一部男性同士で固まる傾向にあるが、実習中のコミュニケーションに支障はみられない。</p> <p>⑥ 3月末まで募集している。2023年度は学外編入試験も2月まで延長した。</p> <p>⑦ 依頼ずみ。</p>
基準8 財務	<p>無借金経営であり中期的な財務基盤は安定しているが、校舎等の老朽化により近い将来の立て直しの検討も必要となる。充実した教育目標に即した経営基盤の強化を達成するために、①定員の確保②退学率の低下に努めている。令和4年度の財務情報は、現在HPで公表中である。</p>
基準9 法令等の遵守	<p>関係法規を基本とし、法令・設置基準等を遵守している。またISO14001に基づき環境保護等に配慮した教育を行っている。</p>
基準10 社会貢献	<p>教職員は、本校の教育資源を社会貢献や地域貢献に活用できるよう自覚を持って行動している。本校は池尻町内会に所属しており、近隣住民を対象とした「食糧祭」を毎年開催している。売上金の一部は世田谷区福祉協議会に寄付し、子ども食堂の運営の一助としている。さらに手作りの菓子やパンなどを作り、定期的(1回/週)に販売する「池尻マルシェ」も好評である。高齢化する地元住民にとって、学校や学生との交流は非常に感謝されている。公開講座としてスキルアップアカデミー講座、長寿健康バタージェン研究所以主催の各種セミナー、講演会等を定期的実施している。引き続き「食と健康」の情報発信源として社会から高い評価が得られるよう、より一層の努力を継続していきたい。社会貢献活動を通じて地域の皆様の健康増進と健康寿命延伸の一翼を担っていきたい。</p>